

第 (3) 年 前期 (4 月 ~ 9 月) 技術・家庭科(技術)の授業

技術・家庭科(技術)の目標・特性		実践的・体験的な学習を通して、コンピュータの基礎を理解し基本動作を学習します。そして、技術が社会に果たしている役割について考え、それらを適切に活用・評価する能力と態度を身につけていきます。
評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度	生活や技術に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
	生活を工夫し創造する能力	技術を活用し、生活を工夫し創造することができる。
	生活の技能	生活や技術に関する基礎的な技能を身につけている。
	生活や技術についての知識・理解	生活や技術に関する基礎的な知識を身につけている。
授業内容単元構成	題材名 (実施月)	到達目標
	コンピュータの基本操作	<ul style="list-style-type: none"> ・起動しキーボードのキーを確認しソフトを活用し文書作成を行うことができ、ファイルに保存や読み込みを行い、終了する事ができる。 ・計画書や申込書の作成。
	インターネットの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・添付電子メールを送ることができる。
	情報モラル、セキュリティについて	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や著作権、インターネットの問題点について考えることができる。
	プレゼンテーションソフトの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・調査発表の資料作成および発表
表計算ソフトの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・平均値や合計値が入力できる。 	
学習に使用する教科書・副教材・道具・ファイルなど		○教科書・技術家庭科ノート技術分野

第（ 3 ）年 後期（10月～3月） 技術・家庭科（家庭）の授業

技術・家庭科の目標・特性		わたしたちの現在および将来の生活に必要な知識や技術を身につけるために、実践的・体験的な学習を中心に学習する。生活をよりよくしようとする態度や能力を身につけ、それを生活に生かす楽しさを味わうことを目標とする。
評価 の 観 点	関心・意欲・態度	生活や技術に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。
	生活を工夫し、創造する能力	技術を活用し、生活を工夫し創造することができる。
	生活の技能	生活や技術に関する基礎的な技能を身につけている。
	生活や技術についての知識・理解	生活や技術に関する基礎的な知識を身につけている。
題材名（実施月）		到達目標
授業 内容 ・ 単 元 構 成	わたしたちの成長と家族 （9月～10月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の心身の発達の仕方を理解する。 ・ 幼児について関心を持ち、幼児の遊び道具や遊びと発達の関わりについて理解する。 ・ 幼児の基本的生活習慣の形成の仕方を理解する。 ・ 幼児を支える家族の役割について理解する。 ・ 幼児の発達を考えた遊び道具の製作。（絵本、ぬいぐるみどちらか）
	わたしたちの生活と住まい （11月～1月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住まいの働きや、家族と住まいの関わりを理解する。 ・ 健康で心地よく住むための、安全に住むための方法を理解する。 ・ よりよい住まいと住み方を考え、理解する。 ・ 実際の住まい（モデルハウス等）を見学し、実際にまなぶ。 ・ 自分の部屋を設計してみる。
	家庭生活と地域とのかかわり （2月～3月）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域社会の一員として、いままでの地域の人々との交流方法を振り返り、さらなる工夫点をさぐる。
学習に使用する教科書・副教材・道具・ファイルなど		<ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 ・ 技術・家庭ノート ・ はさみ、色鉛筆等（必要などき）

学習の前に

- わたしたちが生活をしている家庭や社会において、様々な技術が利用されています。それらの技術に目を向け、技術がどのように役にたち、どのような問題をもっているか意識していきましょう。
- チャイムの鳴る前に、授業の段取りを考えて、必要な準備を整えておきましょう。

授業中

- 学習にあたっては説明をよく聞き、資料をじゅうぶん活用してよく理解するように心がけよう。
- コンピュータ室では勝手な行動を絶対にしない、ソフトによっては音が出たりしますが周りに迷惑がかからないように進めます。
- 実習に積極的に取り組み、エ夫し最後まで根気よくやりとげよう。
- 誤作動を起こすことがあるので電源や各種コードには気をつけて移動しましょう。
- 発表や発言は他の人に確実に伝わるように大きな声で発表しよう。
- 先生の説明やモニターしたことを技術ノートにまとめたり、テキストやノート、配布されたプリントにきちんと整理しよう。

学習後

- 授業で発見した疑問や課題について、自分なりに調べて、まとめておきましょう。
※学習したことが実際の生活のどんなところで活用されているのか考え、調べてみましょう。
- 学習の内容をきちんとまとめ、提出時には忘れないようにしましょう。

評価の仕方

課題に対しての取り組みの姿勢や身につけた知識や技能を、ノートの記入、実習作品や定期テストから総合的に評価します。また、授業に熱心に取り組んだり、実習の準備や片づけを丁寧に行ったり、安全に気をつけて作業に取り組んだりする姿勢は技術・家庭科の目標の達成に大きくつながっていきます。

- 関心・意欲・態度
 - ・単元で取り上げた作業に沿った活動を積極的に行っているか。
 - ・学習内容に関心を持ち、協力や発表を積極的に行っているか。
 - ・服装・準備物を整え、準備や片づけを自主的に行っているか。
- 思考・判断
 - ・学習カードやノートなどに学習内容を整理してまとめているか。
 - ・単元の目標達成に向け、工夫や協力ができているか。
 - ・服装や学習内容と自分の生活を照らし合わせて考えることができるか。
- 技能
 - ・単元の特徴を楽しむための技能を身につけているか。
- 知識・理解
 - ・単元で取り上げた技術の技能を理解しているか。
 - ・学習した内容を理解し、身につけているか。